

6月6・7日開催

▼各常任委員会での質疑の主な内容は次の通りです。

総務経済 常任委員会

◎総務課所管

Q (職員採用について)
行政報告で、来年度も保健師を採用するとあったが、なぜバランスの悪い採用を行っているのか。

A 今年度は専門職を含め10人採用となった。ここ数年間は、採用試験を実施しても採用者がいなかったためである。

Q 本村の障がい者採用数の基準はどのようなになっているか。

A 村長部局、約50人程度の場合0人。規模が大きくなれば、1名ないし2名の雇用が必要になってくる。(教育長部局は除く)

Q 各世帯に配付された「村建設事業のあゆみ」は、今の時期に発行するのか。

A これまでも4年に1度発行している。以前は、総合落成式にあわせて発行していた。

Q 今、プラスチックごみが話題になっていいる。環境破壊にもつながり、村としてゴミを増やさない活動も必要ではないか。

A 国として減量に取り組むこととしているため、村としても減量への取組が必要と考える。

(報告) 平田工業団地の2区画(旧榎本鋳工所・旧エステー化学)を新電力開発(株)が購入希望している。

具体的な計画等は、今後、話を聞く。

◎住民課所管

Q 国民健康保険について

Q 国保加入911世帯のうち軽減世帯はどのくらいか。

A 7割軽減が264世帯、5割軽減が109世帯、2割軽減が92世帯。

Q 国保税算定時に均等割を廃止する自治体もあるのでは、検討していただきたい。

A 承知している。県へ要望していく。

(防犯灯設置について)

Q まだ暗いところがあるので、調査して設置していただきたい。

A 昨年度、補助事業を活用して既存防犯灯をLED化した。単独事業においても設置してきた。

本年度の要望については、調査・検討していく。

(防災計画について)

Q 防災計画の進捗状況は。

A 令和2年2月の完成に向けて、現在、請負業者と協議を進めている。

Q 策定をもとにした、今後の進め方は。

A 各行政区、集落単位で避難経路等を考え、説明会等を開催していく。地区計画のハザードマップについては、12月以降になる。

(消防団組織について)

Q 団員確保には苦労している。初期消火には協力隊の力が必要と考える。協力隊の数や名前の把握、保険の加入の状況は。

A 名簿等に関しては、消防団各班長を通じて村に報告される。保険は、消火活動にあたった方全員が対象になる。

◎健康福祉課所管

Q プレミアム商品券について大型店でも利用できるのか。

A 大型量販店には一度説明に行き、利用の依頼をする予定。

Q 総合健診で実施するピロリ菌の検査方法は。

A 血液検査によるもの。

Q 高齢者による運転事故が多い。各課連携しての注意喚起が必要ではないか。

A サロンや老人クラブ等で、住民課と連携し注意喚起している。

◎産業課所管

Q 芝桜まつりでの宣伝費・出演料等が高額になっていないか。

A テレビ局の取材や雑誌掲載のほとんどは無料。テレビCMの費用は全体で100万円程度。イベントでは、歌手が5万円から30万円、ヒーローショーが70万円程度。

(集落営農について)

Q 座談会でほ場整備の説明を行っているが、農家自己負担はどれくらいか。

A 県営事業となり、自己負担なし。

Q 集落営農組織は行政区をまたいでもよいのか。

A 人・農地プランの実質化は行政区の単位に縛られる必要はない。

Q 4行政区で話し合いをしている地区もある。

◎地域整備課所管

Q 村営住宅の退去者で、村外への転出者の徴収は難しいのか。

A 入居の際は、保証人を付けるよう説明し、滞納した時の対応も説明している。退去者には督促を送付している。納付計画を立て少しずつ納めている方もいる。

Q コガの掘削事業の現状は。

A 今年の要望件数は多い。コガ掘削はボーリングではなく、沢の水等を集めるために設置するもの。

◎教育課所管

Q 4月開園したひらた中央病院の保育施設(おひさま保育園)の入園状況は。

A 全体では10名程度で、村内の子どもは5、6名位。

Q おひさま保育園への

補助は、1・2歳児
分。

A その通り。

Q 建築予定の認定こども園に、防犯カメラ設置の考えは。

A 外部と内部への設置を考えている。

Q ひらた清風中学校に校則はあるのか。

A 正式な校則はないが、生活の決まりのしおりの中で指導している。

Q ひらた清風中学校出入口への外灯設置の要望について、その後の対応は。

A 関係課と前向きに検討している。

Q 家庭バレーボール・40歳以上ソフトボール大会で、参加者確保が厳しくなっている。見直しを行う時期ではないか。

A 協会など関係者と協議し、緩和策・多くの方が参加できる方法を検討していく。

【総務経済常任委員会報告】

○現地視察について

台湾プログラムチャーター便PR状況（福島空港）のほか、蓬田岳水害対策排水路整備工事など村内8か所を現地視察しました。

次の点について要請します。

- ・工事に係る監督業務、竣工検査は万全の体制で実施するとともに、工期の遵守が図られること。
- ・村民生活の利便性の向上、地域の活性化等から財政面も含めた多角的な観点からの対策に取り組むこと。
- ・企業誘致の際は、詳しく調査し慎重に対応すること。



▲①福島空港台湾プログラムチャーター便搭乗者のお出迎えの様子。地域おこし協力隊が村のPR活動を行っている。

▶②福島空港ロビーに、村のPRブースが設置されていた。



◀③村道草場乙空釜線12号橋更新工事の状況を視察。

文教厚生
常任委員会

◎総務課所管

Q旧西山小学校で事業を行っていた菌床事業者はいなくなった。その後の管理などはどうようになっていくのか。

A最終通告から1年以上が経過していることから、内部の片付け、撤去を予定している。

◎住民課所管

QLED防犯灯について、本年度の設置予定数は。
A単独予算の範囲内で20基程設置を見込んでいる。

◎健康福祉課所管

Q風疹抗体検査のクーポン券は、どのようなものか。
A検査から予防接種まで、一連の対応が出来るクーポンを用意する。

Q土曜日の児童クラブを、蓬田で合同実施となった経緯は。

Aおだいら児童クラブは土曜日の利用者が少ない。保護者に確認したところ、合同実施することになった。問題ないとの回答を得たので実施したところである。

◆要望
・健診について、受診率を上げることが予防にもつながるので、幅広く呼び掛けて欲しい。

◎産業課所管
Q世界のアじさい園・ゆり園の広報活動は。A関係機関にチラシ等を郵送している。
Q芝桜まつり・アじさい園・ゆり園の共通無料券の発券数は。
A3万枚程度。
Q料金収入の2200万円について経費を除いた残額は村に寄付するの。
A世界のアじさい・ゆり園の開園に必要な

経費、次年度の芝桜まつりの事前準備の経費、消費税を算出し、残額を寄付する予定。

Q昨年度、ドローンの購入・操作講習をしたが、その後は。
A本体は16万円で購入。操作講習修了者は3名。

◆意見
・災害時の備えとして期待している。

◎教育課所管
Q0歳児が5月から入園。アレルギーを持つ子どもへの対応もあると聞いたが、対応は。
A様々な症状を持つている子どもたちがおり、申請段階での受け入れ可否判断も考えていかなければならない。

Q症状に応じた受け入れの判断は必要である。可能な限り受け入れの努力をして欲しいが、どのように考えているのか。

A人員不足や施設改善の要望など、現場の意見を確認しながら対応していきたい。

◎地域整備課所管

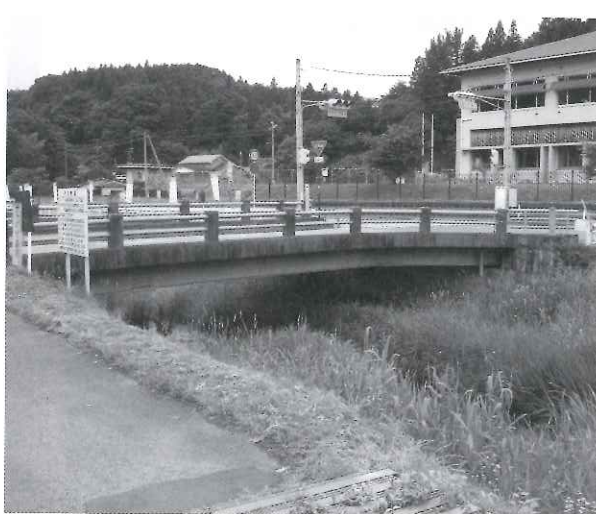
Q逆水橋の上流側に新しく橋を架ける場合、旧橋は壊すのか。また信号は村で移設となるのか。
A旧橋は取り壊す。信号は村で移設することになる。

Q橋により道路の高さは上がるのか。
A現在の逆水橋は河川断面が確保できていないため、新橋では橋の高さが上がる。そのため道路の高さも上がることになる。

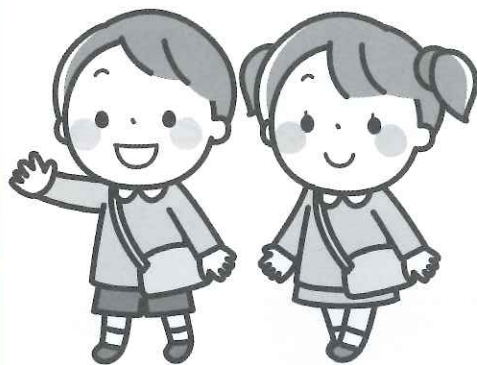
Q平和の碑は撤去するのか。
A工事の支障となるため撤去する。橋梁工事では作業スペースや仮設道路を確保しなければならぬため、他に支障となる物件もある。



逆水橋付近にある平和の碑



小平小学校前の逆水橋
豪雨の際は川が氾濫することもある

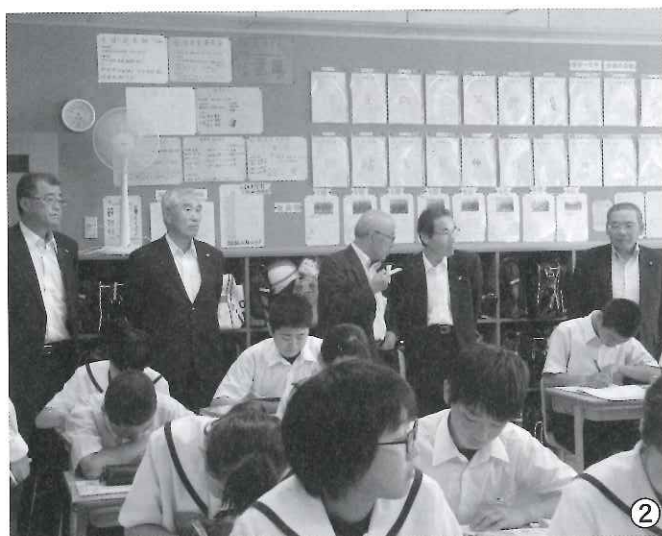


○請願について
「令和2年度及び復興・創生期間後も国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める請願」
全会一致で採択

【文教厚生常任委員会報告】
○現地視察について
小平こども園・小平小学校・ひらた清風中学校を視察し、学校等の経営概要を確認しました。次の点について要請します。
・こども園について、今年度保育士4名が新規採用で確保された。今後、入園児が増加しても、さらに適正な人数で働ける環境づくりに努めること。
・女性の社会進出や共働きが増加しており、保育施設や保育サービスの需要が増加している。一日も早い認定こども園の完成を求める。

▶①小平小学校にて、校長先生・教頭先生から学校経営概要の説明を受ける。

小平小学校では、“心豊かに未来に向かってたくましく生きる子ども”を目指している。



◀②ひらた清風中学校の授業の様子。

ひらた清風中学校では、「英知」「健康」「友愛」の3つの目標を掲げ、活気のある学校づくりに取り組んでいる。

生徒たちには、しっかりと学習に取り組んでもらい、将来、平田村に貢献する大人になってほしい。